

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース/日本円コース/ ブラジル・リアル・コース/通貨セレクト・コース 最近の投資環境と今後の運用方針について

2015年10月14日

平素は、「通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)」各コースをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの最近の投資環境と今後の運用方針について、お知らせいたします。

【為替ヘッジなしコース】

≪基準価額・純資産の推移≫

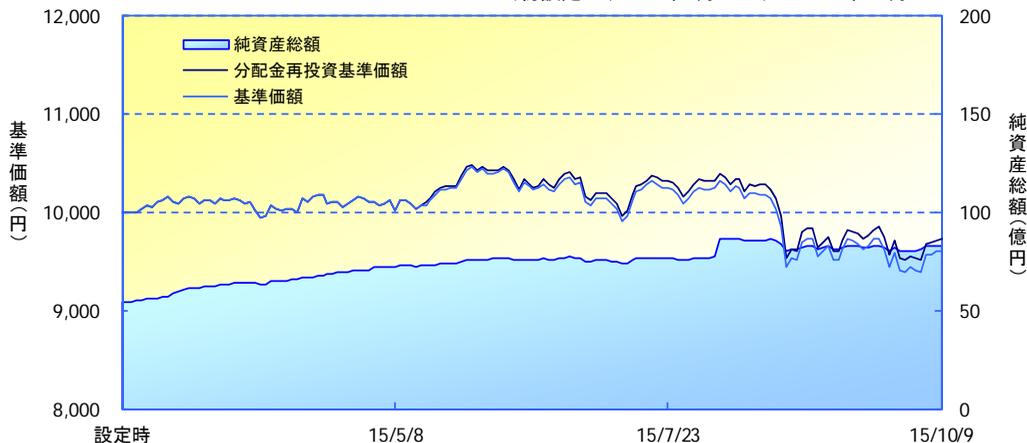
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年10月9日現在

基準価額	9,598 円
純資産総額	82億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.1 %
3カ月間	-2.4 %
6カ月間	-3.9 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	-2.8 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (15/05)	25円
第2期 (15/06)	25円
第3期 (15/07)	25円
第4期 (15/08)	25円
第5期 (15/09)	25円
分配金合計額	設定来: 125円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【日本円コース】

＜基準価額・純資産の推移＞

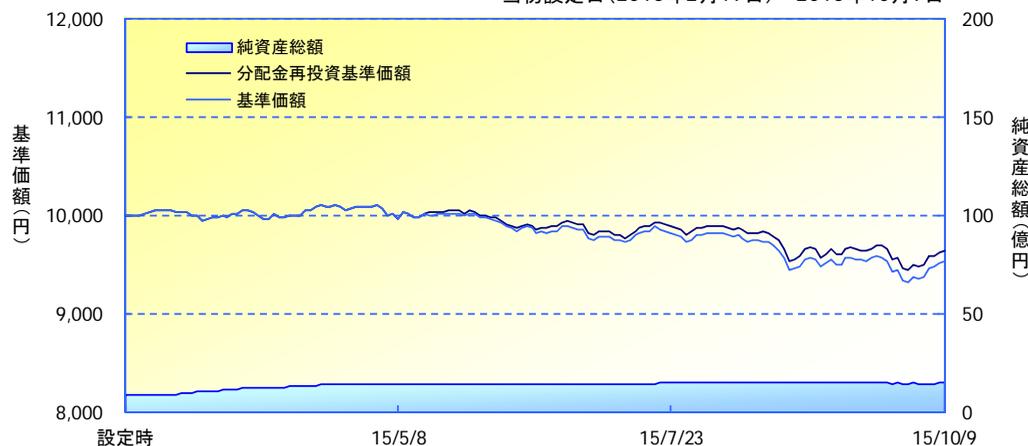
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年10月9日現在

基準価額	9,518 円
純資産総額	14億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.2 %
3カ月間	-1.3 %
6カ月間	-4.0 %
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	-3.6 %



＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (15/05)	25円
第2期 (15/06)	25円
第3期 (15/07)	25円
第4期 (15/08)	25円
第5期 (15/09)	25円

分配金合計額 設定来: 125円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

【ブラジル・リアル・コース】

＜基準価額・純資産の推移＞

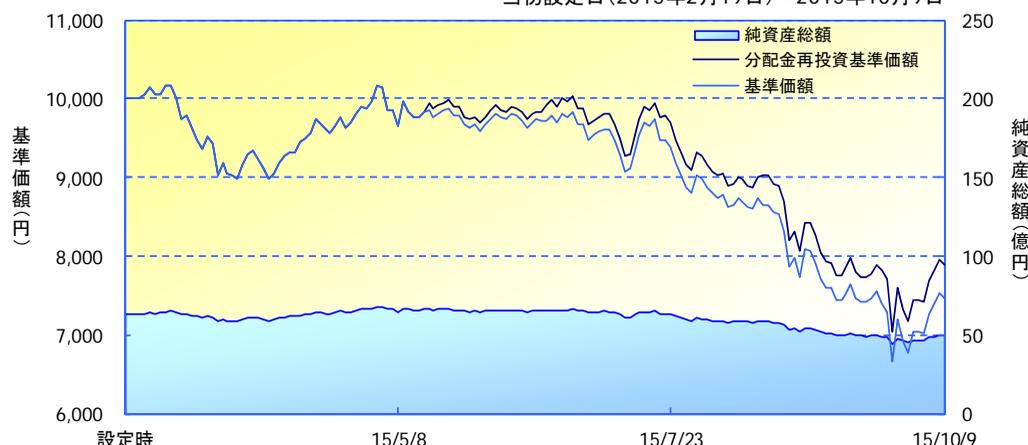
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年10月9日現在

基準価額	7,451 円
純資産総額	48億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.5 %
3カ月間	-14.9 %
6カ月間	-17.7 %
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	-21.2 %



＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (15/05)	100円
第2期 (15/06)	100円
第3期 (15/07)	100円
第4期 (15/08)	100円
第5期 (15/09)	100円

分配金合計額 設定来: 500円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

【通貨セレクト・コース】

≪基準価額・純資産の推移≫

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

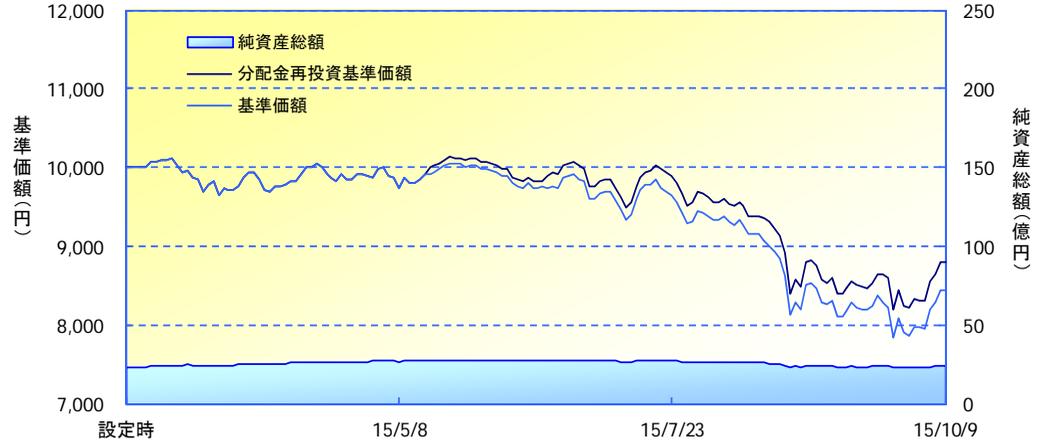
2015年10月9日現在

基準価額	8,434 円
純資産総額	24億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+4.2 %
3カ月間	-7.2 %
6カ月間	-11.9 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	-12.0 %

当初設定日(2015年2月19日)～2015年10月9日



≪分配の推移≫

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (15/05)	80円
第2期 (15/06)	80円
第3期 (15/07)	80円
第4期 (15/08)	80円
第5期 (15/09)	80円

分配金合計額 設定来: 400円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

次頁にファンドマネージャーのコメントを掲載しています。

＜投資環境および今後の運用方針＞

9月のFOMC(米国連邦公開市場委員会)では利上げが見送られました。FRB(米国連邦準備制度理事会)が、世界経済の減速感や金融市場の変動が大きくなっていることに言及したことから、市場では年内の利上げの可能性が後退したとの見方が広まりました。

しかし、米国経済の先行きについては楽観的な見通しを持っています。雇用環境の改善が続いており、多くの企業が最低賃金の引き上げに踏み切っていることから、今後は賃金の上昇圧力が大方の予想を超えて高まる可能性があると考えています。

債券市場では、スプレッド(金利の上乗せ幅)の拡大により、投資適格級債券の魅力が改善していると考えています。また、ハイ・イールド(高利回り)債券については、エネルギー関連の銘柄に慎重な姿勢を維持しますが、それ以外の銘柄については、景気回復による事業環境の改善を考慮すれば魅力的な投資対象と考えています。

株式市場では、主に米国と欧州の高配当株に注目しています。業種別では、住宅建設セクターや自動車セクター、空運セクターなどに注目しています。また、株式市場の変動性の拡大を受けて、オプションプレミアムを得ることができるカバードコール付き株式にも積極的に投資しています。

非伝統的高利回り資産では、ノンエージェンシーMBS(政府関連機関の保証がつかないMBS)や、CMBS(商業用不動産ローン担保証券)、優先出資証券などに投資機会があると考えています。例えば、財務体質が良好な金融機関の優先出資証券の場合、額面に対して6%程度の配当が得られるものがあるなど、魅力的な投資対象と考えています。

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払されると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

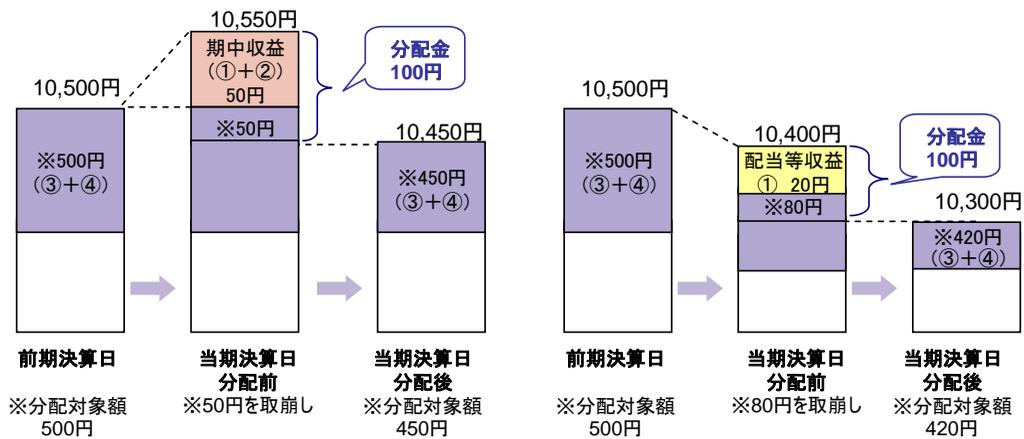


- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合

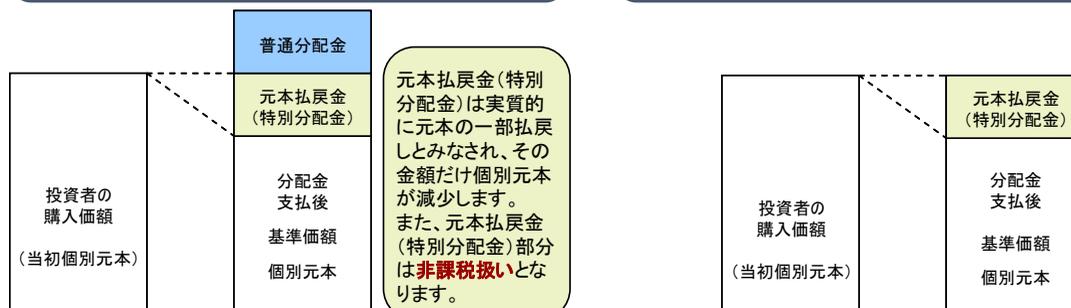


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



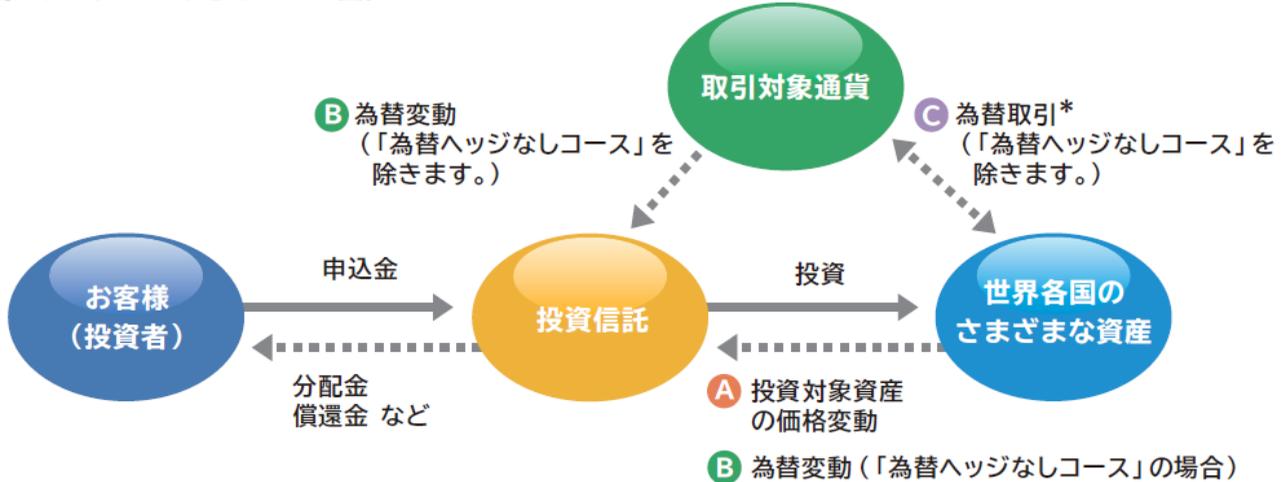
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

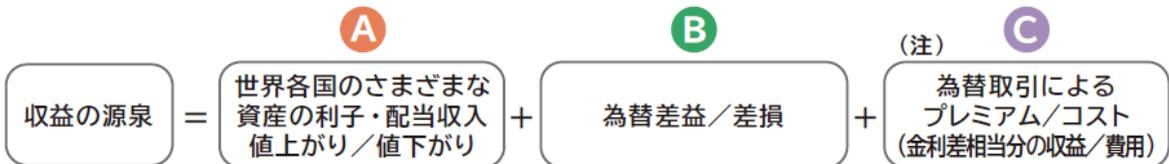
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



収益を得られるケース	<p>↑ 世界各國のさまざまな資産の価格の上昇、利子・配当収入</p>	<p>↑ 為替差益の発生</p> <p>・円に対して取引対象通貨高 ・円に対して投資対象資産の通貨高 (「為替ヘッジなしコース」の場合)</p>	<p>↑ プレミアム (金利差相当分の収益) の発生</p> <p>取引対象通貨の短期金利 > 投資対象資産の通貨の短期金利</p>
損失やコストが発生するケース	<p>↓ 世界各國のさまざまな資産の価格の下落</p> <p>・発行体の信用状況悪化 ・発行企業の経営不安、倒産等</p>	<p>↓ 為替差損の発生</p> <p>・円に対して取引対象通貨安 ・円に対して投資対象資産の通貨安 (「為替ヘッジなしコース」の場合) ※「日本円コース」を除きます。</p>	<p>↓ コスト (金利差相当分の費用) の発生</p> <p>取引対象通貨の短期金利 < 投資対象資産の通貨の短期金利 ※「為替ヘッジなしコース」を除きます。</p>

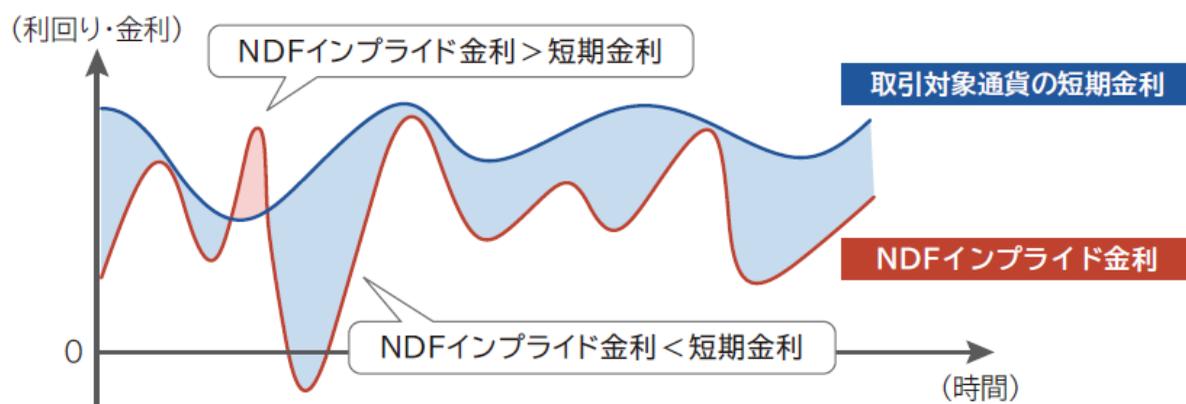
(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際に、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

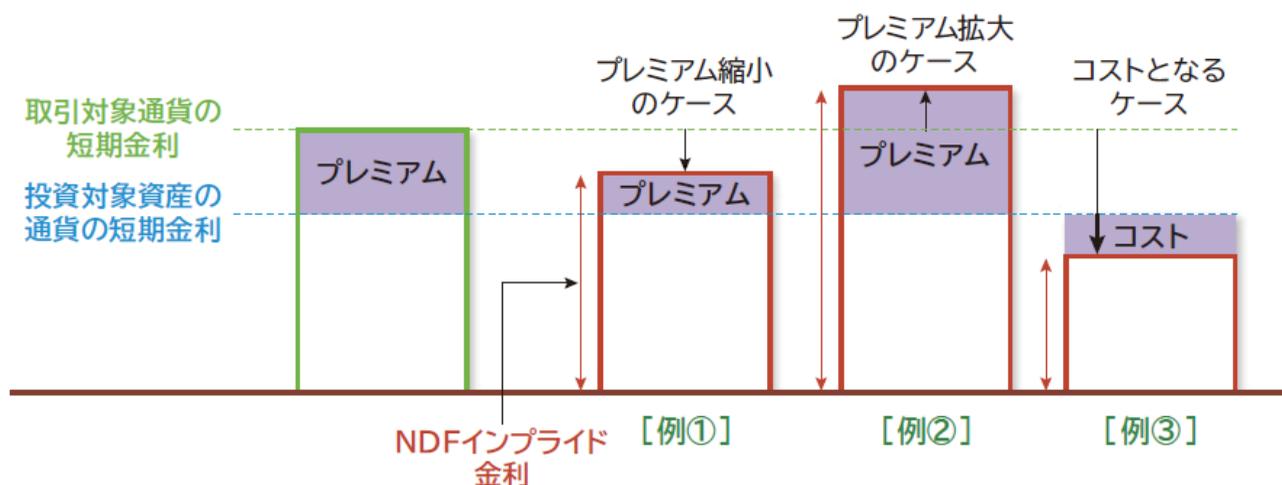
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。
 ※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース/日本円コース/ブラジル・リアル・コース/通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

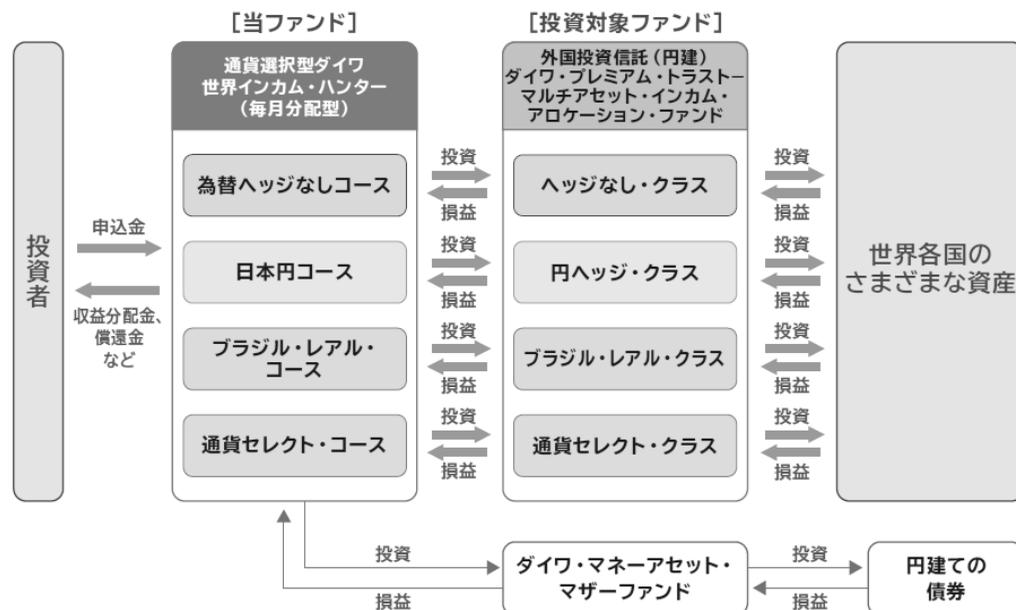
ファンドの特色

1. 世界各国のさまざまな資産に投資します。
 2. 投資環境に応じて、各資産の配分比率を機動的に調整します。
 3. 為替取引を活用します。
- ◆当ファンドには「為替ヘッジなしコース」と為替取引を行なう3つのコースがあります。



※4つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

4. 毎月18日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
※第1計算期間は、平成27年5月18日(休業日の場合翌営業日)までとします。
 5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆外国投資信託の受益証券を通じて、世界各国のさまざまな資産に投資し、「為替ヘッジなしコース」を除き、投資対象とする資産について為替取引を行ないます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
- 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース：為替ヘッジなしコース
 - 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース：日本円コース
 - 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・リアル・コース：ブラジル・リアル・コース
 - 通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース：通貨セレクト・コース
- ◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)」とします。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース/日本円コース/ブラジル・リアル・コース/通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動)」、「為替変動リスク」、「コントリビュート・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※<為替ヘッジなしコース>は、組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。また米ドル以外の通貨の資産にも投資を行なうため、当該資産の通貨の為替変動の影響を受けます。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※<日本円コース>は、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、日本円の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※<ブラジル・リアル・コース、通貨セレクト・コース>は、取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。投資対象資産の通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する投資対象資産の通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。なお、取引対象通貨の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※<為替ヘッジなしコース>以外について、投資対象とする資産の通貨のうち一部の通貨について、為替取引が困難、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、為替取引を行わない場合があるため、取引対象通貨以外の為替変動の影響を受けることがあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)

為替ヘッジなしコース/日本円コース/ブラジル・リアル・コース/通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率(上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用(信託報酬)	年率 1.215% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする投資信託証券	「為替ヘッジなしコース」・・・年率 0.77%程度 「日本円コース」「ブラジル・リアル・コース」・・・年率 0.80%程度 「通貨セレクト・コース」・・・年率 0.92%程度 この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	「為替ヘッジなしコース」 年率 1.985% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「日本円コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率 2.015% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 年率 2.135% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会